

3-11 Hoshigadai, Tajimi City, Gifu Pref., 507-0811 JAPAN

TEL. +81-572-22-5381 / FAX. +81-572-25-1163

URL: <http://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp>Mail: info@ceram.rd.pref.gifu.jp

Gifu Prefectural Ceramics Research Institute

岐阜県セラミックス研究所

since 1911

TM

「令和5年度研究成果発表会及び加藤孝造先生追悼講演」を開催します

当所では、産業振興・地域振興を目的に、新分野の開拓や業界が抱える課題解決のための研究開発、技術支援を行っています。

この度、地域のセラミックス産業に携わる皆様の業務の一助としていただくため、下記のとおり研究成果発表会を開催します。また、今年4月に逝去された当所元職員で重要無形文化財(人間国宝)保持者である加藤孝造先生を偲んで、一番弟子である陶芸家 堀俊郎氏をお迎えし、追悼講演を行いますので、是非ご参加ください。

- **日 時**： 令和5年11月20日(月) 14時から16時15分まで
- **会 場**： セラミックパークMINO イベントホール(岐阜県多治見市東町4-2-5)
- **定 員**： 50名 参加費無料(ご興味のある方はどなたでも参加できます。)
- **主 催**： 岐阜県セラミックス研究所
- **共 催**： ぎふ技術革新センター運営協議会
- **内 容**： 1.主催者あいさつ
2.追悼講演
 - ・「重要無形文化財(人間国宝) 加藤孝造先生から学ぶ焼物への想いについて」
陶芸家 堀俊郎氏、主任専門研究員 小稲彩人
- 3.研究成果発表(口頭発表)
 - ・「副生石灰粉末の釉薬へ応用」 県産業技術総合センター 専門研究員 茨木靖浩
 - ・「粒子表面状態を考慮した種々複合材料の調製」 主任専門研究員 尾畑成造
 - ・「タイル製品の外観検査手法の提案」 専門研究員 岩田靖三
 - ・「粘土を用いた機能性材料の開発に向けたカオリナイトの分散性に関する調査」
主任研究員 齋藤祥平
- 4.研究成果発表(ポスター発表)
 - 上記口頭発表のテーマに加えて以下のテーマ
 - ・「陶磁器製造における異物由来不良を再現したライブラリーの作製」
専門研究員 足立良富
 - ・「陶磁器の鑄込み成形技術のデジタル化とその応用」
専門研究員 安達直己
- **申込方法**： ・電子メールにて、氏名、所属、連絡先(住所・電話番号・FAX番号)をお送りください。
また当所ホームページ(<https://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp/>)に掲載しております参加申込書のFAXでも受け付けております。
- **申込締切**： 令和5年11月13日(月) 必着
- **問合せ** 岐阜県セラミックス研究所 (〒507-0811 岐阜県多治見市星ヶ台3-11)
- **申込先**： TEL：(0572)22-5381 FAX：(0572)25-1163 E-mail： info@ceram.rd.pref.gifu.jp

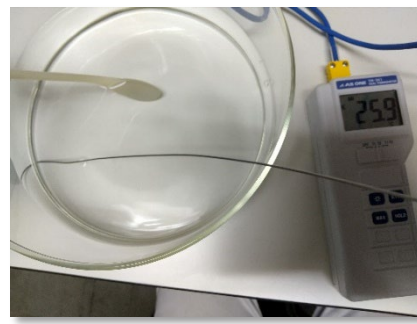
事例紹介 技術相談

当所では、研究開発、依頼試験、開放機器利用、技術相談、緊急課題技術支援、巡回技術支援などの事業を実施することにより、県内企業の技術力向上を支援しております。そこで、当所をご利用していただくことによって、どのような支援が期待できるのかを具体的にイメージしていただくため、過去に実施した技術支援事例をご紹介します。

■マグカップの電子レンジ耐熱試験方法について：

最近、電子レンジは広く普及し使用されています。そこで、自社の陶磁器製品が電子レンジで使用可能かどうかを判断するため、これまで独自の方法で試験を行っていました。しかし、その試験方法が、本当に良いのかわからないという相談が当所に寄せられました。現在、日本には、陶磁器製食器の電子レンジによる耐熱性試験はありません。そのため、緊急課題技術支援にて、欧州規格(参考 BS EN 15284:2007)を調べ、この試験方法との比較を行いました。また、巡回技術支援にて企業を訪問し、目の前で試験を行いながら、欧州規格の試験を実施するための試験手順、必要な機器や器具、注意する点などを、詳細に説明しました。その結果、電子レンジ耐熱試験方法として採用することになり、より信頼性の高い試験を実施できるようになりました。

この事例のように、当所が実施している緊急課題技術支援や巡回技術支援は、製品の評価試験に関連する技術的なサポートにも利用することができます。



電子レンジのマイクロ波出力校正の様子

「SDGs講座」

食や健康をテーマに学ぶ「SDGs講座」が、9月20日にイオンモール土岐で開催されました。

講座は、暮らしの身近なSDGsに理解を深めてもらうために、岐阜県とイオンモール土岐が初めて企画し、生活に役立つような3テーマのうち1テーマを当所職員が講演し、約40人の観客が参加しました。

講演の中で、再生原料を使用した美濃焼「Re-食器」の開発と、二酸化炭素排出を低減させる低温焼成の研究を紹介しました。「安価で大量に作る美濃焼はごみを生みやすい傾向があった。さらなる環境負荷低減を目指して研究開発を続けている。」と説明しました。

一般の家庭でもできる取り組みとして「リサイクルされた器を使ってもらいながら、不要になった器の資源化にも協力してほしい。回収量と販売量のバランスが大切です。」と提案しました。



〒507-0811

岐阜県多治見市星ヶ台3-11

電話:(0572)22-5381 FAX:(0572)25-1163

URL: <http://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp>Mail: info@ceram.rd.pref.gifu.jp